

相京 博士

法人税法第二二条第四項とたな卸 資産評価規定…………… 11 号 79 頁 論 説

青木 英夫

議決権（拘束）契約…………… 1 41 論 説

コンツェルンにおける吸収合併と株主保護…………… 2 37 論 説

株券をめぐる若干の問題…………… 4 49 論 説

新株発行事項の公示をめぐる問題…………… 8 73 論 説

ニュージーランド会社法における取締役および取締役会…………… 10 83 研究ノート

ニュージーランド会社法における総会…………… 11 145 研究ノート

ニュージーランドにおける会社の設立（上）…………… 12 63 研究ノート

——ニュージーランド会社法研究Ⅲ（1）——…………… 12 145 研究ノート

ニュージーランドにおける会社の設立（下）…………… 13 51 研究ノート

——ニュージーランド会社法研究Ⅲ（2）——…………… 13 51 研究ノート

ニュージーランド会社法における計算書類および監査役…………… 14 25 研究ノート

——ニュージーランド会社法研究Ⅳ——…………… 14 25 研究ノート

ニュージーランド会社法における株式および資本(上)	15	89	研究ノート
——ニュージーランド会社法研究V(1)——		132	
ニュージーランド会社法における株式および資本(中)	16	59	研究ノート
——ニュージーランド会社法研究V(2)——		93	
ニュージーランド会社法における株式および資本(下)	17	61	研究ノート
——ニュージーランド会社法研究V(3)——		101	
会社法におけるコンツェルン法的構成の必要性(上)	18	141	論
——山崎製パン事件第一審判決をモメントとして——		159	説
ニュージーランドにおける会社の借財能力(上)	19	35	研究ノート
——ニュージーランド会社法研究VI(1)——		63	
コンツェルン関係における大株主の責任(1)	20	77	論
——会社法におけるコンツェルン法的構成の必要性(上)(2)——		102	説
ニュージーランドにおける会社の借財能力(下)および私会社	20	189	研究ノート
——ニュージーランド会社法研究VI(2)・VII——		210	
子会社の締結した契約についての親会社の責任(上)	21	71	論
——コンツェルン関係における大株主の責任(2)——		86	説
会社の再建、合併および株式の公開買付	21	111	研究ノート
——ニュージーランド会社法研究VII——		132	
子会社の締結した契約についての親会社の責任(下)	22	61	論
——コンツェルン関係における大株主の責任(3)——		75	説
会社の社会的責任について	22	155	研究ノート
法人格否認の法理とコンツェルン関係		171	
——コンツェルン関係における大株主の責任(4)——		24	論
結合企業のサバイバルのための活動と一人会社	25	1	論
		24	説

事実上の機関	26	1	説
——Ursula Steinの所論——		42	
会社法改正と国際摩擦	27	1	説
——		30	
事実上の取締役とコンツェルン関係	28	1	説
——コンツェルン関係における大株主の責任(5)——		46	
事実上のコンツェルンにおけるコンツェルン指揮の限界	29	1	説
——商法294条12のコンツェルン法的構成を指して(一)——		31	
——コンツェルン関係における大株主の責任(6)——(1)——			
事実上のコンツェルンにおけるコンツェルン指揮の限界	30	1	説
——商法294条12のコンツェルン法的構成を指して(二・完)——		57	
——コンツェルン関係における大株主の責任(6)——(2)——			
事実上のコンツェルン指揮の責任(一)	31	1	説
——西ドイツ株式法における加重的コンツェルンをめぐる論争をモメントとして——		32	
——コンツェルン関係における大株主の責任(7)——(1)——			
事実上のコンツェルン指揮の責任(二・完)	32	1	説
——ドイツ株式法における加重的コンツェルンをめぐる論争をモメントとして——		49	
——コンツェルン関係における大株主の責任(7)——(2)——			
従属的コンツェルン会社における取締役の利益相反(二)	33	1	説
——コンツェルン関係における大株主の責任(8)——(1)——		23	
従属的コンツェルン会社における取締役の利益相反(二・完)	34	119	説
——コンツェルン関係における大株主の責任(8)——(2)——		139	
資産および業務の混和と社員の有限責任(一)	35	1	説
——アメリカ法およびドイツ法を中心として——		22	
——コンツェルン関係における大株主の責任(9)——(1)——			

資産および業務の混和と社員の有限責任(二・完)……………	36	1	論	説
——アメリカ法およびドイツ法を中心として——				
——コンツェルン関係における大株主の責任(9)——(2)——				
支配株主の信認的義務(二)……………	37	1	論	説
——イギリス法およびアメリカ法を中心として——				
——コンツェルン関係における大株主の責任(10)——(1)——				
支配株主の信認的義務(二・完)……………	38	1	論	説
——イギリス法およびアメリカ法を中心として——				
——コンツェルン関係における大株主の責任(10)——(2)——				
イギリスにおける会社グループの債務(二)……………	39	1	論	説
——コンツェルン関係における大株主の責任(11)——(1)——				
イギリスにおける会社グループの債務(二・完)……………	40	1	論	説
——コンツェルン関係における大株主の責任(11)——(2)——				
会社グループの規整を巡る若干の問題(二)……………	41	1	論	説
——コンツェルン関係における大株主の責任(12)——(1)——				
純粹持株会社の規制および大規模会社の株式保有規制の緩和に関して……………	43	1	論	説
結合企業法の課題……………	44	1	論	説
——スイス新株式法の結合企業法制(コンツェルン規定)をモメントとして——				
コーポレート・ガバナンスの果て(二)……………	45	1	論	説
コーポレート・ガバナンスの果て(二・完)……………	46	1	論	説
有限責任のフェミニニズム的展望(二)……………	47	1	論	説

明田川 昌幸

転換社債・新株引受権附社債の構造と株主の地位…………… 36
 定款により譲渡制限された株式の譲渡・競売と従前の株主の地位…………… 51
 ——あるタクシー会社をめぐる一連の判決を素材にして——
 法律学におけるデータベースおよびインターネットの活用…………… 21
 横 1 } 135 } 51 }
 21 } 166 } 127 }
 研究ノート 論 説

安部 哲夫

ドイツにおける青少年有害図書規制と連邦審査会…………… 79
 オランダの社会治療処分 その現状と課題…………… 204
 ——ベーター・タック教授の講演から——
 青少年社会環境と青少年保護法令の展開…………… 29
 ——青少年の性的保護を中心として——
 横 179 } 79 }
 204 } 95 }
 論 資 研究ノート
 説 料

阿部 徳幸

租税法律主義の現状と司法権の役割…………… 74
 横 135 } 155 }
 論 説

雨宮 昭一

戦後の語り方……………67
 ——サクセスストーリーとナルシシズムから「学問」へ——

横 1
 }
 18 論 説

荒 秀

建築基準法の行政法的特質……………34

総合設計制度批判……………39

——建築基準法の一断面——

建築と情報公開……………40

——建築基準法の一断面——まち作りと情報公開

一種再開発と収用委員会(共…金子正史)……………41

建築審査会の法と実務……………42

開発許可の法と実務(一)……………44

開発許可の法と実務(二)……………46

日韓建築法比較研究ノート……………46

開発許可の法と実務(三) 完……………47

279
 }
 448 論 説

315
 }
 446 研究ノ
 ト

83
 }
 127 論 説

1
 }
 93 論 説

1
 }
 66 論 説

533
 }
 559 報 告

293
 }
 311 研究ノ
 ト

29
 }
 50 論 説

1
 }
 32 論 説

新井 剛

建物明渡猶予制度の保護対象……………80
 売却のための保全処分に関する一考察(一)……………81
 売却のための保全処分に関する一考察(二・完)……………82
 詐取された再発行カードによる預金払戻しと預貯金者保護法・再論……………83
 —大阪地判平成二〇年四月一七日判例時報二〇〇六号八七頁—
 買受人のための保全処分と引渡命令に関する一考察(一)……………93

池端 忠司

表現の自由と女性差別……………34
 —ボルノグラフィ規制は道徳の問題か女性差別の問題か—
 研究ノート……………251
 ………………288

石井 保雄

吾妻光俊の戦後労働法学……………69
 —ある近代主義者の肖像—
 戦時期の吾妻光俊の軌跡……………71
 —「労働力のコントロール」理論前史—
 ………………106
 ………………111
 論……………論
 説……………説

有泉亭における争議行為の違法性阻却構成 ——戦後労働法学の一断面——	75			論	説
浅井清信の労働法学 ——二つの「アバ(ヴァン)」に着目して——	78	1	95	論	説
津曲藏之丞の戦前・戦時期における理論軌跡 ——石崎政一郎との比較を通じて考える——	82	1	156	論	説
菊池勇夫の「社会法」論 ——戦前・戦時期の業績を通じて考える——	91	67	180	論	説
わが国労働法学の黎明 ——昭和年代前期における孫田秀春の足跡をたどる——	93	45	151	論	説
Les transformations et l'avenir du droit du travail vus du Japon ——戦前・戦時期の未広蔵太郎——	93	横 421 21	447 145	資 論	料 説
わが国労働法学の生誕	96	横 1	68	論	説
カナダにおける職場いじめ・暴力に対する法規制 ——ケベック州における心理的ハラスメント法制とオンタリオ州の職場の暴力とハラスメント禁止法——	96	横 1	68	論	説
戦前・戦中期における後藤清の社会法学 ——時代の伴走者の記録——	99	25	175	論	説
石垣 茂光					
相殺の期待保護 ——ドイツにおける判例学説について——	39	111	151	研究ノート	
相殺適状が与える両債権への影響について ——当然消滅主義から意思表示による相殺への変遷——	40	399	445	研究ノート	

相殺における担保的機能論に関する一考察	43				
——相殺の第三者効を導く理由付けについて——					
相殺権濫用論と相殺要件に関する一考察(一)	45	261	340	論	説
相殺権濫用論と相殺要件に関する一考察(二・完)	46	129	231	論	説
相殺契約に関する一考察(一)	49	137	176	論	説
相殺契約に関する一考察(二)	50	119	168	論	説
ドイツ倒産法判例紹介(三)	51	135	167	判例研究	
石村 耕治					
遡及増税立法違憲訴訟の論点	77	233	284	論	説
——損益通算制限立法の遡及適用と租税法主義——					
使途選択納税と租税の法的概念	80	81	105	論	説
税財政規律と国民災害保険制度の是非	87	横 33	65	論	説
——アメリカでの大震災被災者支援と税財政規律論議					
政教分離からみた宗教法人が行うペット葬祭の税務収益事業該当性	88	横 49	86	判例研究	
規制緩和時代の私立大学運営と税財政法務	91	横 25	108	論	説
アメリカで新たに誕生した税務専門職制度	92	横 267	311	研究ノート	
——登録納税申告書作成士(RTRP)——					
二重課税とは何か	94	横 81	209	論	説
電子商取引全盛時代の「二重課税」の概念とは					

石山 卓磨

テイクオーバーと合併に関するシテイ・コード(一九八一年二月改正版)……………	18	271	資
一九七二年ヨーロッパ共同体法九条一項とイギリス会社法理の修正……………	19	33	論
——イギリス法における事実上の取締役・再論——……………			説
英国における近時の派生訴訟事例について……………	27	53	説

出射 義夫

刑事責任論に対する一私案……………	1	28	論
殺人罪における故意……………	2	19	論
カルピンの奴隷的意思説……………	4	39	論
イスラエルの法と刑法の権威……………	5	22	論
開講の辞(昭和四九年度)……………	6	13	説
——ジャン・カルヴァンの刑法思想——……………			
開講の辞(昭和五〇年四月)……………	7	13	論
——アリストテレスにおける倫理と政治——……………			
未必の故意雑感……………	7	63	研究ノート
聖徳太子十七条憲法の時代的背景……………	8	68	説
——昭和五一年度開講の辞——……………			

従属的共同正犯……………	8			
聖徳太子憲法の本文注釈……………	9			
ドイツ的刑法理論を越えて日本の刑法理論に……………	10			
——開講の辞(昭和五二年度)——				
わが国古代の刑法……………	11			
刑法における義理と人情……………	12			
——昭和五四年度開講の辞——				
市川 須美子				
最高裁学テ判決と「日の丸・君が代」強制……………	81			
		横		
		1		
		∫		
		26		
		論		
		説		
一之瀬 高博				
産業事故の越境影響に関する国連欧州経済委員会条約について……………	47			
		229		
		∫		
		259		
		論		
		説		
伊東 秀郎				
一時借地権……………	8			
——その認定をめぐる実務上の問題点——				
		29		
		∫		
		47		
		論		
		説		

右崎 正博

情報公開——一九九九年……………	51	横	1	研究ノート
情報公開——二〇〇〇年—二〇〇一年……………	57	横	1	研究ノート
韓国情報公開法改正案……………	58	横	59	資料
法廷内写真の撮影・公表と報道・取材の自由……………	60	27	52	論
——和歌山保険金詐欺事件勾留理由開示裁判の法廷内写真をめぐって——				
Overview of Implementation of Japan's Information Disclosure Act ……	61	横	217	研究ノート
			225	

白井 久和

政治のことば……………	4	75	115	論
——戦後の日本外交に関する一つのアプローチ——				
紛争分析の視角……………	7	35	61	論
平和学の可能性……………	11	45	77	論
——平和研究の発展と課題——				
民衆外交の展開と地球政治……………	41	425	446	論
——国際主体としてのNGOと自治体を中心に——				

内山 良雄

偶然防衛における法益保全結果の帰属と違法減少…………… 86
 横 29
 44
 論 説

梅田 武敏

営業譲渡…………… 77
 53
 95
 論 説

——労働契約関係との関連において——

遠藤 研一郎

時効の延長効の及ぶ範囲に関する一考察…………… 64
 53
 97
 論 説

——平井一雄著「いわゆる『時効の期間の転換』について」から示唆を受けて——

担保のための併存的債務引受（担保的債務加入）における…………… 66
 31
 79
 論 説

原債務と加入債務の関係について（一）……………

担保のための併存的債務引受（担保的債務加入）における…………… 67
 33
 75
 論 説

原債務と加入債務の関係について（二・完）……………

大川 俊

公開買付勧誘目的及び委任状勧誘目的による株主名簿閲覧謄写請求とその拒絶事由…………… 92
 1
 32
 判例研究

——東京地決平成二四・二二・二二金判一四〇八号五二頁——

非上場会社における第三者割当による新株発行と取締役の対会社責任……………98
 ——最判平二七二二一九金判一四六四号二二頁——
 横 67
 判例研究

大杉 麻美

フランス離婚法がわが国離婚法に与える影響について……………77
 ——二〇〇四年五月二六日法を手がかりとして——
 研究ノート
 313
 333

大藤 紀子

欧州連合とフランスの難民認定制度(一)……………65
 横 1
 25
 欧州連合とフランスの難民認定制度(二)……………69
 横 15
 44
 「平等」／「差別禁止」原則について……………77
 159
 187
 日本における政教分離原則の機能的な考察……………86
 1
 38
 La portée du principe d'égalité ou de non-discrimination dans l'ordre juridique japonais……………86
 横 1
 28
 論 説
 論 説
 論 説
 論 説
 論 説

大宮 莊策

天皇の法的地位についての疑問……………12
 19
 37
 殉職自衛官護国神社合祀拒否損害賠償等請求事件判決……………13
 83
 109
 判例研究
 論 説
 判例研究
 判例研究

——昭和五四年三月二二日山口地方裁判所判決——

人権の衝突とその調整について……………18

岡垣 知子

『社会科学としての日本外交研究…理論と歴史の統合をめざして』(川崎剛著)
ミネルヴァ書房、二〇一五年……………99

横 59
書 65

評

鹿兒島 重治

日本の地方自治制度……………32
——その沿革と役割——

5
176

報

告

春日 偉知郎

民事訴訟における違法収集証拠の利用可能性……………12
——問題提起と各国の状況紹介を中心として——

39
62

論

説

時機に後れた攻撃防禦方法の却下……………15

——西ドイツ簡素化法 (Vereinfachungsnotelle) の問題点——

19
65

論

説

堅田剛

ヤークوپ・グリムにおける童話と法	15	67	説
——歴史法学研究(一)——		87	
法の内なるポエジー	16	21	論
——歴史法学研究(二)——		21	
『ドイツ法古事誌』と『フランス法の起源』	17	1	論
——歴史法学研究(三)——		21	
ギールケ、あるいは法の内なるフォーム	27	73	論
イエーリング、あるいは冗談法学	28	47	論
アイケ・フォン・レプゴウ、あるいは法の数え歌	29	89	論
テイボー、あるいは法のコラール	30	89	論
ガンス、あるいは法の普遍史	31	125	論
ヘーゲル、あるいは哲学的法学	32	51	論
サヴィニー、あるいは法の文法学	33	127	論
ヤークوپ・グリムとフランクフルト国民議会	34	173	論
穂積陳重の歴史法学	35	23	論
——進化論から文体論へ——		47	
穂積陳重の法典論	36	23	論
——法典の「形体」について——		49	

「独逸協会学校」教師としてのゲオルク・ミヒャエリス(1)……………	64	横	239	資	料
——『国家と国民のために』より——					
「独逸協会学校」教師としてのゲオルク・ミヒャエリス(2・完)……………	65	横	117	資	料
——『国家と国民のために』より——			140		
明治二十年のファンシーボール……………	66				
——あるいは鹿鳴館外交の挫折について——			1		
ヤークト・グリムの『ドイツ法古事誌』……………	67				
——ドイツ学と国学のあいだ——			1		
尾佐竹猛と法の雑学……………	68				
——明治文化研究の一素描として——			1		
ハイネとガンズ……………	69				
——「法学オペラ」と『相統法』——			113		
			139		
外骨雪宛祝賀会……………	70				
——大日本頓智研法始末——			1		
			30		
サヴィニーとグリム……………	71				
——二つの歴史法学——			107		
			136		
吉野作造と明治文化研究会……………	72				
——「ヘーゲルの法律哲学」から「嘆きの天使」まで——			1		
			30		
ヤークト・グリムのサヴィニー宛書簡(1814年10月29日付)……………	72	横	207	資	料
——『立法と法学に対する現代の使命』と『法の内なるポエジー』——			226		
伊藤博文の憲法修業……………	73				
——吉野作造「スタイン、グナイストと伊藤博文」を読む——			1		
			29		
『西哲夢物語』事件と明治文化研究会……………	74				
——憲法制定の裏面史として——			1		
			31		
				論	説

	E・T・A・ホフマン(2・完)	87			
	——ヴォールハウプター著『詩人法律家』その三——				資
	法の神学	88			論
	——法文化論のために・その一——			41	説
	法の詩学	89		41	
	——法文化論のために・その二——			68	
	法の哲学	90		25	論
	——法文化論のために・その三——			55	説
	フォイエルバッハとサヴィニー	93		25	論
	——法典論争外伝——			54	説
	若きヘーゲルの宗教論、あるいは \wedge 律法 \vee と \wedge 道德 \vee の弁証法	94		153	論
	若きヘーゲルの《国制》論	95		185	説
	——『ドイツ憲法論』をめぐって——			1	論
	ヘーゲルの《点》、あるいは立憲君主制について	96		25	論
	——《点》とは何か——			30	説
				147	論
				179	説
加藤 一彦					
	トリーベル研究ノート	25		89	研究ノート
	——『憲法と政党』の一考察——			125	
	ワイマール憲法における政党国家論	29		155	論
	——O・ケルロイター、G・ラートブルフ、R・トーマの場合——			189	説
	ドイツにおける政党への国家財政援助の憲法問題	33		181	研究ノート
				191	

ドイツ基本法における政党の憲法的地位論…………… 34

加藤 健一郎

エドモンド・バークとアメリカ問題…………… 11
 ——帝國主義的問題と自由主義的側面——

金子 正史

アメリカ合衆国における行政事件訴訟の原告適格…………… 6
 ——Data Processing 以後の連邦裁判所の動向——
 アメリカ行政訴訟における非公式行為の紛争の成熟性…………… 34
 一種再開発と収用委員会（共…荒秀）…………… 41

刈 田 徹

〔淺田徳則明治七年使米日記〕…………… 13
 明治外交に尽した御雇い外国人スチーブンスのこと…………… 18
 大川周明における改革思想の形成と本質…………… 20

197 }
 250 }
 論

93 }
 113 }
 論

113 }
 142 }
 論

533 }
 559 }
 報

163 }
 188 }
 論

説

説

説

告

説

木藤 茂

ドイツの「権限順応法」(Zuständigkeitsanpassungsgesetz)について	74	横	249	資	料
ドイツの「行政送達法」(Verwaltungszustellungsgesetz)について	76	横	155	資	料
——行政行為の「告知」及び「送達」の概念の再確認とともに——			182		
政策形成と行政法の交錯に関する一考察	77	論	189	論	説
——行政過程における「法律」の役割を考えるための一つの試み——			231		
公文書管理と行政法	93	論	187	論	説
			234		

清宮 四郎

憲法改正禁止規定について	6	論	15	論	説
			34		

クリストファー・H・ハンナ

アメリカ法学教育の最近の潮流	44	講	横	23	演
			35		

来栖 宗孝

犯罪・犯罪者と刑罰	20	研究ノート	211		
——マルクス・エンゲルス余滴——			234		

ゲルハルト・リース

古代オリエントにおける私的不正に対する制裁……………47
 ——刑法と損害賠償の発端と発展とについて……………

横 107
 講 116

演

伍 岳 中

中国における行政管理の現状と課題（趙履寛著）……………32
 中国の行政……………229
 ——現状とその改革——……………241

報 227
 翻 219

告 訊

香 城 敏 磨

罪数概論……………61

論 1
 57

説

古 関 彰 一

日米安保条約の締結と日本の自衛権……………34
 憲法九条成立の意図とその受容……………44
 安保体制の成立と構造（一一）……………54

論 73
 論 117
 論 143

説

後藤 卷 則

民法学の方法……………	40			
——末弘民法学までの素描——				
消費者契約における契約締結過程の適正化と情報提供義務(一)……………	49	25	135	論 説
割賦販売の基本判例(一)……………	50	169	201	研究ノート
小林 直 樹				
Skokie 村事件(1)……………	57	横 37	73	資 料
Skokie 村事件(2)……………	59	横 33	79	資 料
Skokie 村事件(3)……………	60	横 71	118	資 料
自動車ナンバー自動読取システム(Nシステム)事件……………	68	横 77	106	研究ノート
表現の自由と「闘争的言辞(Fighting words)」法理の展開……………	69	横 133	163	研究ノート
情報公開法による自己情報開示請求……………	70	横 125	139	判例研究
——法律扶助協会指導等調査報告書開示請求訴訟——				
大阪府土地開発公社が個人および法人から買収した土地の買収価格等に関する情報が情報公開条例所定の不開示情報に当たらないとされた事例……………	71	横 173	186	判例研究

小柳 春一郎

関東大震災と借地借家臨時処理法(大正一三年法律第一六号)(上).....	41	235	論
関東大震災と借地借家臨時処理法(大正一三年法律第一六号)(中).....	42	217	論
関東大震災と借地借家臨時処理法(大正一三年法律第一六号)(下).....	43	231	論
国税庁の発足と税務行政.....	44	263	論
占領下における軍政部徴税督励.....	47	117	研究ノート
地上権者への固定資産税課税についての沿革的考察.....	49	53	論
——「定期所有権」と固定資産税.....		71	説
罹災都市借地借家臨時処理法についての議会審議.....	58	1	論
昭和三〇年代の借地借家法改正法案における「正当事由」条項(Ⅰ).....	60	1	研究ノート
昭和四一年借地法・借家法改正の再検討.....	64	27	論
——戦後社会の変貌への対応——.....		73	説
ボワソナード民法草案における所有権の「絶対性」.....	67	19	論
——非制約性と対抗可能性——.....		73	説
日本におけるコード・シヴィルの受容.....	68	1	論
——法典としての民法——.....		24	説
オットー・ルードルフ(二八四五—一九二二)について.....	73	117	研究ノート
——東京大学ドイツ法講師から司法省顧問・裁判所構成法原案起草者へ(付・明治18年9月「裁判所組織及裁判手続ニ関スル意見」)——.....		177	——
法務図書館所蔵・裁判所構成法関連・オットー・ルードルフ文書の紹介.....	74	157	資
(翻訳) アンヌ・ソフワイ・クレマンソン著 借地と都市整備.....	74	201	資
——フランス・リヨン市民病院の貸地経営(二七八—一九一四)——(Ⅰ).....		247	料

(翻訳) アンヌ・ソフイー・クレマンソン著借地と都市整備……………	75	横 137	資	料
——フランス・リヨン市民病院の貸地経営(二七八—一九一四)——(2)				
法務図書館所蔵・裁判所構成法関連文書の紹介……………	76	横 107	資	料
——明治20年独・英・仏語原案(1)——		横 154		
法務図書館所蔵・裁判所構成法関連文書の紹介……………	77	横 179	資	料
——明治20年独・英・仏語原案(2)		横 205		
フランス法における合意境界確定……………	78	横 1	論	説
——土地所有権界確定と不動産取引安全——		横 77		
(翻訳) アンヌ・ソフイー・クレマンソン著 借地と都市整備……………	78	横 269	資	料
——フランス・リヨン市民病院の貸地経営(二七八—一九一四)——(3)		横 302		
法務図書館所蔵・裁判所構成法関連文書の紹介……………	79	横 111	資	料
——明治20年独・英・仏語原案(3)		横 140		
フランス法における強制退去(明渡し)…賃料不払い・空家不法占拠と警察上援助拒絶……………	84	横 65	論	説
フランス法における商事賃貸借と再建型債務整理手続……………	87	横 67	研究ノ	ト
原子力災害補償専門部会(昭和三三年)と「原子力損害の賠償に関する法律」(1)……………	89	横 89	研究ノ	ト
原子力災害補償専門部会(昭和三三年)と「原子力損害の賠償に関する法律」(2)……………	90	横 229	研究ノ	ト
原子力災害補償専門部会(昭和三三年)と「原子力損害の賠償に関する法律」(3)……………	91	横 109	研究ノ	ト
原子力災害補償専門部会(昭和三三年)と「原子力損害の賠償に関する法律」(4)……………	92	横 125	研究ノ	ト
原子力災害補償専門部会(昭和三三年)と「原子力損害の賠償に関する法律」(5)……………	93	横 167	研究ノ	ト
原子力災害補償専門部会(昭和三三年)と「原子力損害の賠償に関する法律」(6)……………	94	横 211	研究ノ	ト
「原子力損害の賠償に関する法律」昭和四六年改正と事業者責任制限(1)……………	95	横 1	論	説
「原子力損害の賠償に関する法律」昭和四六年改正と事業者責任制限(2)……………	96	横 69	論	説

立法資料：「原子力損害の賠償に関する法律案想定問答昭和三十五年五月 原子力局」	96	横 311	資 料
立法資料：「原子力損害の賠償に関する法律案想定問答昭和三十六年三月 原子力局」	97	横 131	資 料
ジャック・コンブレ「相続処理におけるフランス公証人の役割：相続登記未了問題解決のために」	98	横 89	資 料
ダニエル・ボルヴェリ「コルシカにおける不動産承認の特質：相続登記未了問題の解決のために」	99	横 67	翻 訳
原子力損害の賠償に関する法律（原賠法、一九六一年）の立案経緯と制度見直しの論点	99	横 95	講演記録

齋 藤 実

少年刑事手続に関する二〇一四年少年法改正とフィンランドにおける少年法制の現在	94	57	論 説
フィンランドにおける女子受刑者処遇の現在（いま）	96	181	論 説
——子どものいる女子受刑者の処遇（家族ユニット）を中心にしつつ——		1	
ノルウェーにおける犯罪被害者庁の現在（いま）	98	18	論 説
——暴力犯罪被害補償庁及び犯罪被害者支援地方事務所を中心として——			

坂 本 延 夫

ドイツにおけるコンツェルン法の成立史（1）	50	239	研究ノート
——H. U. Dettingの所説を中心として（共：佐藤文彦）		275	
ドイツにおけるコンツェルン法の成立史（2）	51	37	研究ノート
——H. U. Dettingの所説を中心として（共：佐藤文彦）		109	

櫻井 雅夫

国際経済法再考	49	1	論
ドイツの投資奨励保護協定	56	55	資
アメリカⅡヨルダン自由貿易地域協定	61	227	研究ノート
		275	
		90	料
			説

佐藤 文彦

ドイツ倒産法判例紹介(一)	48	205	判例研究
ドイツにおけるコンツェルン法の成立史(1)	50	239	研究ノート
——H. U. Dettingの所説を中心として(共:坂本延夫)		275	
ドイツにおけるコンツェルン法の成立史(2)	51	37	研究ノート
——H. U. Dettingの所説を中心として(共:坂本延夫)		109	
ドイツ有価証券取得及び支配獲得法(WpUG)と敵対的企業買収における将来の局外株主の利益保護	58	69	研究ノート
		196	

椎原 国隆

宅地建物取引業者の報酬請求権	8	49	論
		72	説

柴崎 暁

L'abstraction de la promesse non causée de payer une somme d'argent en droit privé japonais ... 61
 手形保証の付従性・独立性・有因性..... 62
 証券会社による自約（介入）取引の法的性質..... 63
 ——フランス法における吞行為合法化小史——
 横 145
 横 1
 横 65
 166 44 82
 研究ノート
 論
 論
 説

柴田 平三郎

アウグステイヌスにおける「教会と国家」..... 20
 「民主主義 古代と現代」(1) (M・I・フィンレイ)..... 24
 《君主の鑑》(1)..... 25
 「民主主義 古代と現代」(2) (M・I・フィンレイ)..... 25
 《君主の鑑》(2)..... 26
 「民主主義 古代と現代」(3) (M・I・フィンレイ)..... 26
 《君主の鑑》(3)..... 27
 「民主主義 古代と現代」(4) (M・I・フィンレイ)..... 27
 「民主主義 古代と現代」(5) (M・I・フィンレイ)..... 28
 《君主の鑑》(4・1)..... 29
 75 69 163 97 87 43 127 25 79 131
 88 91 185 120 112 86 154 72 110 162
 論 翻 翻 論 翻 論 翻 論 翻 論
 説 訳 訳 説 訳 説 訳 説 訳 説

《君主の鑑》(4・2)……………	30	59	説
《君主の鑑》(5)……………	31	59	説
《君主の鑑》(6)……………	33	49	説
《君主の鑑》(7)……………	34	141	説
《君主の鑑》(8)……………	37	49	説
ソールズベリのジョンにおける人文主義の意 味……………	43	107	説
ソールズベリのジョンとキケロ……………	44	145	説
——理性と言語、社会の起源をめぐって——		190	
『ボリクラティクス』という書物……………	45	145	説
——ソールズベリのジョンの政治思想研究序説——		205	
△血の滴る剣△……………	46	1	説
——ソールズベリのジョンにおける「教会と国家」——		45	
△君主の鑑△……………	47	81	説
——『ボリクラティクス』における君主と暴君——		158	
△陰画としての暴君△……………	48	35	説
——ソールズベリのジョンの暴君殺害論——		75	
《書物に殉じた鈍牛》……………	50	65	説
——トマス・アキナスの思想世界		91	
《歴史舞台の上のトマス》……………	51	1	説
——中世の夏Ⅱ十三世紀		35	
《神学大全》……………	52	47	説
——思想のゴシック建築——		78	
十三世紀△アリストテレス革命△史観とトマス・アキナス……………	53	49	説
		87	

神の善性 (bonitas Dei) としての《この世と人間》……………	55				
——トマス政治思想の神学的・形而上学的基礎——					
人間 (homo) ・社会 (societas) ・国家 (civitas) ……………	59				
——トマス政治思想の基礎構造——					
《共通善》としての国家……………	76				
——トマス政治思想の基本目的——					
トマス・アクイナスの《混合政体論》……………	78				
トマス・アクイナスの《暴君放伐論》……………	79				
トマス・アクイナスの《正戦論》……………	85	1	83	131	
		50	149	216	
《神の統治》と《人間の統治》……………	86	39			
——トマス・アクイナスにおける「教会と国家」——		87			
清 水 真					
「弁護人の助力を受ける権利」と余罪……………	61				
刑事弁護過誤の判定基準と救済措置(上)……………	62	横			
		45			
		56		102	
「文化的背景に由来する抗弁」に関する一考察……………	63	横			
		93			
		106			
医療事故への刑事法的対応に関する考察……………	64	横			
		127			
		137			
——実体的対応と手続法的対応——					
刑事弁護過誤の判定基準と救済措置(下)……………	65	横			
		27			
		39			
証人保護のための遮蔽措置及びヴィデオ・リンク方式の合憲性(上)……………	67	横			
		221			
		231			
証人保護のための遮蔽措置及びヴィデオ・リンク方式の合憲性(下)……………	68	横			
		25			
		36			

合衆国憲法の二種類の弁護権と反復自白……………	69	横	1	論	説
医療事故の届出義務に関する考察(上)……………	70	横	1	論	説
刑事医療過誤における医長の過失責任についての考察……………	71	横	1	論	説
——埼玉医大耳鼻咽喉科抗腫剤過剰投与事件平成一七年最決の検討を中心に——					
中国の「上場会社のコーポレート・ガバナンスの原則」(翻訳)……………	57	横	109	資	料
コーポレート・ガバナンスの改善と社外取締役制度……………	61	横	103	論	説
——中国法への社外取締役制度の導入モデルを中心に——			122		
企業再編法制における公正と効率……………	64	横	139	論	説
——株式交換・株式移転制度を素材として——			159		
子会社に対する親会社株主の帳簿・書類閲覧請求権……………	78	横	217	論	説
——アメリカ法を中心に——			251		
取立委任裏書の抹消と譲渡担保としての手形債権の移転時期……………	81		125	判	例
——福岡高判平成一九二二二判時一九七二号一五八頁——			140	研	究
中国における中央銀行法制の現状と課題……………	90	横	1	論	説
中国における銀行業に対する行政的監督管理の法構造と課題……………	91	横	1	論	説
中国における商業銀行の法構造の現状と課題……………	92	横	1	論	説
中国における外資銀行法制の構造と課題……………	93	横	143	論	説
中国における商業銀行のコーポレート・ガバナンス……………	97	横	97	論	説
			130		

周 劍 龍

白鳥 令

The Fall of the Concept of Nature in Medieval Japan 1
 ——A Comparative Study—— (in English) 112

政治的文化の枠組による政治意識の多次元解析 (II) 3
 55
 133

申 先雨

尊属殺重罰と法の下の平等 49
 ——日本と韓国の比較法的観点から—— 103
 128

不適格候補者の落選運動と選挙運動期間の制限——韓国憲法裁判所最新判例紹介 58
 95
 116

神馬 幸一

韓国「国家人權委員会法」の成立と施行経過 59
 81
 115

大野真義『罪刑法定主義(新訂第二版)』世界思想社(二〇一四) 97
 205
 215

ドイツの犯罪学における近時の研究指導体制と教育状況 (一) 98
 1
 17

ドイツの犯罪学における近時の研究指導体制と教育状況 (二・完) 99
 1
 38

書評
 論説
 論説

研究ノート
 資料
 研究ノート

論説

論説

鈴木和晋

日本の官僚制……………32
 —その由来、変遷そして現在—……………195

鈴木淳一

国連経済社会理事会とNGOとの協議取決めの改定……………379
 —グローバルな「市民社会」の国連への参加—……………425

伝統的国際法の国内法補足的性質について……………73
 —武力紛争法・国際人道法を例として—……………101

伝統的国際法の国内法補足的性質について……………105
 —武力紛争法・国際人道法を例として—……………149

伝統的国際法の国内法補足的性質について……………54
 —武力紛争法・国際人道法を例として—……………146

個人を規律する国際法と国際社会の道徳……………61
 —国際秩序における非拘束的規範の必要性について—……………216

文化的表現の多様性の保護及び促進に関する条約(文化多様性条約)(仮訳)……………71
 「文化的表現の多様性の保護及び促進に関する条約(文化多様性条約)」の採択と意義……………207

世界保健機関(WHO)・新国際保健規則(IHR)の概要……………78
 ……130

世界保健機関(WHO)・国際保健規則(IHR二〇〇五)の発効と課題……………84
 —国際法の視点から—……………262

少年法改正と植松試案……………7
 ——少年審判手続における檢察官関与の問題をめぐって——
 不動産賃借権の無断譲渡と無断転貸の犯罪性……………9
 ——不動産侵害罪の成否を中心として——

徐元宇

韓国の地方自治制度……………32
 韓国における行政法の現状と課題……………42
 韓国における憲法裁判と行政訴訟の関係……………50

宗田貴行

オランダにおける迷惑メール規制の新たな展開……………77
 搾取的濫用行為と独禁法上の行政及び民事的エンフォースメント……………96
 ——ドイツ競争制限禁止法における議論を参考にして——(上)
 搾取的濫用行為と独禁法上の行政及び民事的エンフォースメント……………97
 ——ドイツ競争制限禁止法における議論を参考にして——(下)

成樂寅

情報公開と私生活の秘密保護 言論機関の税務調査に関する情報の公開拒否判例を中心として……………47

横 95
 }
 106
 講 演

横 96
 }
 309
 論 説

横 131
 }
 155
 論 説

93 } 論 説
 }
 118 } 297 } 263 } 報 告
 } 312 } 287 }

63 } 研究ノート
 }
 81 }

高木 新一郎

Changing Bankruptcy Practice and Law in Japan : Its Future Effects 56 横 1 } 18 論 説

高佐 智美

アメリカにおける「市民」の定義の歴史的意義 49 103 } 136 論 説
 ——岐路に立つ修正第十四条——

戦後補償裁判と「国籍条項」 51 111 } 134 判 例 研 究

ポスト「国民国家」におけるCitizenship 概念の新たな展開 53 197 } 225 論 説
 ——イギリスを例に—— (一)

ポスト「国民国家」におけるCitizenship 概念の新たな展開 54 147 } 168 論 説
 ——イギリスを例に—— (二)

ポスト「国民国家」におけるCitizenship 概念の新たな展開 57 37 } 66 論 説
 ——イギリスを例に—— (三・完)

国籍取得の「権利」性と国家の「裁量」論 63 横 107 } 129 論 説

外国人と社会保障／国保法の解釈運用をめぐる問題点 69 横 45 } 69 論 説
 アメリカにおける人権の揺らぎ 72 横 45 } 78 論 説
 ——移民法におけるデュープロセスの保障——

高島 良一

労働者災害と不法行為……………	10		
企業施設と組合活動——とくにピラ貼りについて——……………	14	75	15
最高裁判所昭和四九年(オ)一一八八号 昭和五四年一〇月三〇日判決(三小) 国鉄札幌事件……………		87	59
採用における差別待遇……………	18		
労働法律関係と労働契約(一)……………	20	21	
労働法律関係と労働契約(二)……………	21	36	
労働法律関係と労働契約(三)……………	22	25	
労働法律関係と労働契約(四・完)……………	23	48	

多賀谷 一照

情報法と公法と私法の区別(1)……………	87	1	
情報法と公法と私法の区別(2)……………	89	57	15
情報法と公法と私法の区別(3 完)……………	90	75	

滝沢 誠

犯罪被害者の訴訟参加(一)……………	64		
犯罪被害者の訴訟参加(二)……………		161	171

横
161
} 171
論
説

論
論
論
説
説
説

論
論
論
論
論
判例研究
論
説

犯罪被害者の訴訟参加(二)	66	横 1	論
犯罪被害者の訴訟参加(三・完)	67	横 233	論
		258	説

只 木 誠

過失犯の罪数	35	49	論
フランスにおける違法性の錯誤	35	91	研究ノート
混合的包括一罪論の前提	37	99	論
観念的競合の明示機能について	39	77	研究ノート
——不真正結果的加重犯の競合問題を素材として——		109	
Tateinheit und Tatmehrheit im materiellen Recht und im Verfahrensrecht bei Teilnahme	46	横 25	論
ドイツにおける「汚職対策(政治腐敗防止)法」について(一)	46	287	研究ノート
共犯の罪数	47	197	論
ドイツにおける「汚職対策(政治腐敗防止)法」について(二)	47	449	研究ノート
Das Gesetz zur Bekämpfung des Korruption vom 13. und 20. August 1997	47	横 161	研究ノート
——Vergleich mit der gesetzlichen Regelung in Japan——		178	
ドイツにおける「汚職対策(政治腐敗防止)法」について(三・完)	49	177	研究ノート
一事不再理効の客観的範囲について	53	89	論
——罪数判断との対応を維持すべきか——		129	説
刑法及び、答責性によるその構想(ハンス・ルートヴィヒ・シュライバー講演、只木誠訳)	56	33	資料
——帰責能力とはなにか——		46	

ドイツにおける対外文化政策(フォルカ・クライン講演、只木誠訳)……………57
 資 料

田 中 和 夫

英米法における合同的債務……………1
 論 説

立証責任に関する判例の研究……………4
 論 説

——最高裁判所の下における判例——

イギリス離婚法の沿革……………6
 論 説

イギリスにおける離婚の際の財産分与……………11
 論 説

日米の最高裁判所の比較……………15
 論 説

アメリカにおける憲法解釈についての二つの見解……………18
 論 説

——憲法の変遷に関連して——

太 矢 一 彦

抵当権の性質について……………46
 研究ノート

——抵当権価値権論への一疑問——

抵当権の物権性について……………48
 研究ノート

——フランスにおける学説を中心として——

質料債権に対する抵当権者の物上代位について(一)……………49
 研究ノート

——物上代位の公示と第三者との関係をめぐって——

質料債権に対する抵当権者の物上代位について(二)……………50
 研究ノート

——物上代位の公示と第三者との関係をめぐって——

									英米刑法における「利益侵害論」(2—完)……………
									——エーザーの見解を中心として——……………
									財産罪における罪数問題 (1)……………
									「カルチャー・ギャップ」と刑事責任……………
									——「Cultural Defense」の検討——(1)……………
									「カルチャー・ギャップ」と刑事責任……………
									——「Cultural Defense」の検討——(2)……………
									盗犯等の防止及び処分に関する法律一条一項の正当防衛の成立要件……………
									「法益論」の再検討 (一)……………
									「共謀罪」及び「共謀」概念とコンスピラシーの法理……………
									成 嶋 隆
									ヘイト・スピーチ再訪 (二)……………
									ヘイト・スピーチ再訪 (一)……………
									西 村 克 彦
									シーグル『法の探求』(一九四一年)第21章 自然と諸国民の法……………
									34
									289
									316
									翻
									訳
									93
									92
									横
									1
									横
									29
									68
									61
									論
									論
									説
									説
									57
									67
									98
									論
									論
									説
									50
									29
									63
									論
									論
									説
									40
									515
									535
									判
									例
									研
									究
									38
									65
									79
									論
									説
									34
									101
									118
									論
									論
									説
									21
									87
									109
									論
									論
									説
									103
									130
									論
									論
									説

西村 隆誉志

16世紀フランス私法学と体系法学者ドノーの私法理論……………23

……………61

論 説

——損害回収のアクティオをめぐる——

……………78

論

説

「ローマ法学」のルネサンス的対応……………24

……………25

論

説

——近世私法学におけるH・ドノーの損害(態様)論——

西村 正紀

日本における最近の行政改革……………32

……………177

報

告

萩原 宜之

A S E A N ・ A P E C ・ E A E C ……………41

……………1

論

説

——アジア太平洋の安全保障と経済協力——

……………52

橋本 恭宏

土地の賃借人が借地上の子名義で登記を経由した建物を所有する場合と

建物保護法に関する法律一条の対抗力……………9

……………97

判

例

転賃借・再賃貸の再構成……………63

……………131

論

説

……………143

判

例

……………112

研究

長谷川 貞之

プロジェクト・ファイナンスにみる新しい資産担保手段と法律上の問題点……………61
 根保証の立法化をめぐる問題……………64

花本 広志

「目的物の返還不能と解除権の帰趨」に関する覚書……………41
 人格権の財産権的側面……………45
 ——パブリシテイ価値の保護に関する総論的考察——
 無体財産権侵害における実施料相当額の損害賠償と不当利得……………54
 ——ロルフ・ザック「無体財産権法の体系におけるライセンス・アナロジー」の紹介を中心として——

ハンス・ルートヴィヒ・シュライバー

刑法及び、答責性によるその構想（ハンス・ルートヴィヒ・シュライバー講演、只木誠訳）……………33
 ——帰責能力とはなにか——……………46

資料

久松 一恵

米国オハイオ州における家庭ごみ収集と再生資源回収の実際……………43
 ——地方自治体の広報（一九九四～一九九五年）より——

357
 }
 374

研究ノート

平井 一雄

Joint Ventureのごとの一素描……………1
 贈与物の返還請求が認められた事例……………6
 解除の効果についての覚書……………9
 非典型担保論史（譲渡担保論史）……………40
 ——明治初期から昭和二〇年まで——
 建築請負人の建物敷地に対する商事留置権……………44
 裁判上の催告について……………48
 いわゆる「時効の期間の転換」について……………56

171 127
 } }
 178 144

判例研究

1 } 47 } 論
 } } 62 } 論
 34 } 34 } 論
 } } 115 } 論

論

研究ノート

平山 也寸志

代理権限濫用行為と過失相殺……………37
 ——本人に監督義務違反ある場合——

141
 }
 173

研究ノート

人文主義的法解釈……………	65	横	41	論	説
——ジャック・ゴドフロワ「消費貸借論」の方法論的分析——					
ローマ法の批判的実用化……………	66	横	23	論	説
——シーモン・ファン・フルーネウエーヘンの法文廢止論——			88		
弁証術改革と法律学……………	67	横	259	論	説
——ラムス主義法学における「方法」——			344		
法学教育と人文主義……………	68	横	37	論	説
——便覧の功罪をめぐって——			76		
(翻訳) ヘラルト・ノートの人文主義法学論……………	68	横	107	資	料
不上訴特権と帝国法……………	69	横	71	論	説
——ダーフィット・メヴィウスの裁判権論——			131		
鑑定実務における利益衡量……………	70	横	57	論	説
——クリストフ・ベーツルトの鑑定意見から——			123		
対物権概念と所有権の移転……………	71	横	87	論	説
——ユルリク・ヒューベルにおける人文主義・自然法・現代的慣用——(1)			172		
ユルリク・ヒューベルの自然法論……………	71	横	209	資	料
対物権概念と所有権の移転……………	72	横	79	論	説
——ユルリク・ヒューベルにおける人文主義・自然法・現代的慣用——(2・完)			138		
二重売買における第二買主善意……………	72	横	139	論	説
——スペイン学説継受の一例として——			205		
カノン法と教会法……………	73	横	45	論	説
——プロテスタント教会法学の生成——			116		
別居から離婚へ……………	74	横	53	論	説
——17世紀プロテスタント離婚法学——(二)			134		

(翻訳) ユルリク・ヒューベルの離婚論	74	横	261	資	料
別居から離婚へ……………	75	横	37	論	説
——17世紀プロテスタント離婚法学——(二・完)			136	論	説
(翻訳) シーモン・ファン・レーウエンの離婚論	75	横	157	資	料
近世封建法学の方法と法文解釈……………	76	横	37	論	説
——ローゼンタール『考察と概略』の方法論的分析——			100	論	説
ハイリッヒ・フォン・ローゼンタールの二重授封論	76	横	183	資	料
『カエキーナ弁護』における法解釈……………	77	横	157	論	説
——ドノーとフィンネンの法解釈方法論から——			178	論	説
請負概念の生成……………	78	横	79	論	説
——現代的慣用と人文主義法学の接点——			163	論	説
フランス慣習法学とローマ法……………	78	横	163	論	説
——「フランス共通法」とは何か——(二)			218	論	説
デュ・ムーランとコキエウの慣習法論……………	78	横	303	資	料
フランス慣習法学とローマ法……………	79	横	47	論	説
——「フランス共通法」とは何か——(二・完)			110	論	説
クロード・ド・フェリエールの慣習法論……………	79	横	141	資	料
法定抵当権から先取特権へ……………	80	横	1	論	説
——一七世紀における物的担保の概念——(二)			51	論	説
現代的慣用における抵当権者の順位……………	80	横	53	資	料
法定抵当権から先取特権へ……………	81	横	67	論	説
——一七世紀における物的担保の概念——(二)			150	論	説
法院判決における「特権化された抵当権」……………	81	横	151	資	料
			168	資	料

国庫の先取特権……………	82	横	1	説
——人文主義法学と現代的慣用の接点その二——(一)		横	1	
クリスティアン・フリードリヒ・グリユックの国庫先取特権論……………	82	横	63	資
国庫の先取特権……………	83	横	1	論
——人文主義法学と現代的慣用の接点その二——(二・完)		横	114	
一七世紀ネーデルラントにおける法文間矛盾論……………	83	横	115	資
法定抵当権から先取特権へ……………	84	横	263	論
——一七世紀における物的担保の概念——(三・完)		横	379	
ジュリアン・ブロードーとクロード・ド・フェリエールのパリ慣習法第170条注釈……………	84	横	381	資
定期金の概念と類型……………	85	横	1	論
——典拠分析による学説史概観——(一)		横	60	
ルイス・デ・モリナの定期金類型論……………	85	横	61	資
定期金の概念と類型……………	86	横	45	論
——典拠分析による学説史概観——(二)		横	110	
シャルル・デュ・ムーランの賃租概念論……………	86	横	111	資
定期金の概念と類型……………	87	横	1	論
——典拠分析による学説史概観——(三)		横	32	
普通ザクセン法学の世襲賃租論……………	87	横	151	資
消費貸借における擬制と定期金売買……………	88	横	1	論
フランチェスコ・マンティカの永代賃借概念論……………	88	横	87	資
定期金の概念と類型……………	89	横	1	論
——典拠分析による学説史概観——(四)		横	88	

エフェラルツとメノッキオの定期金推定論	90	横	131	論	説
——典拠分析による学説史概観——(五・完)					
ナポリ王国における授封物の定期金	90	横	303	資	料
共同抵当における二つの代位	91	横	181	論	説
相統に関する嫁資合意	91	横	263	資	料
——ヒエロニムス・シユルフの鑑定意見から——					
相統と嫁資合意	92	横	63	論	説
——現代的慣用とは何か——(二)					
シユトリユークの嫁資合意論	92	横	313	資	料
相統と嫁資合意	93	横	69	論	説
——現代的慣用とは何か——(二)					
普通ザクセン法における嫁資合意	93	横	449	資	料
相統と嫁資合意	94	横	1	論	説
——現代的慣用とは何か——(三)					
普通ザクセン法における寡婦相続権と嫁資合意	94	横	303	資	料
相統と嫁資合意	95	横	69	論	説
——現代的慣用とは何か——(四)					
リユーベック法における配偶者相続権と嫁資合意	95	横	151	資	料
——ターフィット・メウイウス『リユーベック法注解』から——					
相統と嫁資合意	96	横	119	論	説
——現代的慣用とは何か——(五)					
ブランデンブルク法における夫婦間相続と嫁資合意	96	横	361	資	料
			375		

	贈与・終意処分・嫁資合意……………	97	横	175	資	料
	——カスパー・マンツ『プファルツ判決百選』から——					
	ベーゼラーの相続契約学説史(上)……………	98	横	125	資	料
	ベーゼラーの相続契約学説史(下)……………	99	横	39	資	料
	……………			58		
	フランツ・ヌシユラー					
	MENSCHENRECHTE UND MASSENELEND……………	27		121	論	説
	……………			154		
	古 沢 博					
	1. パリ条約四条にもとづく優先権の主張と特許法一〇四条の推定規定の適用	5	89	判例研究		
	2. 特許法一〇四条により侵害行為が推定された場合における差止請求の対象の特定方法……………	6	79	論		
	コンピュータによる情報蓄積・検索システムと著作権……………	9	19	論		
	他人の著作物の利用に関する著作権法上の諸問題……………	13	46	論		
	Benson 判決以後のコンピュータ・プログラムの特許性……………	21	32	論		
	コンピュータ・ソフトウェアと著作権……………	21	70	論		
	……………		55	説		
	……………		70			
	星野 昭吉					
	冷戦期の「永い平和」と核兵器……………	41	115	論		
	……………		164	説		

The Changing State Sovereignty in the Global System	43	横	21	論	説
世界政治の理論と現実.....	45	93	144	論	説
——国際関係理論をめぐる論争から——					
Globalization and Global Governance	47	横	53	論	説
Globalization and the Agent-Structure Problem	49	横	1	論	説
グロバライゼーションと地域主義の展開.....	52	1	45	論	説
——四政治社会空間の構造と複合的地域の構造——					
世界政治における脱国家主体.....	53	1	48	論	説
地球環境政治と地球公共財.....	56	横	19	論	説
——地球環境保全としての地球公共財——			53		
Globalization and the Formation of Global Politics	58	横	1	論	説
グロバリアル社会における平和学の枠組みと課題.....	61	横	1	論	説
グロバリアル紛争構造の形成・展開とグロバリアル平和構造の構築.....	62	1	53	論	説
暴力紛争の原因と構造.....	63	横	1	論	説
アイデンティティ・グロバリアル政治.....	64	横	75	論	説
——対称的・非対称的紛争構造——			126		
世界政治の理論と現実.....	67	横	133	論	説
——グロバリアル政治の現実と第三の大論争——			220		
地球公共財の変革と公共財の構成.....	70	横	15	論	説
——現状変革志向地球公共財への理論的アプローチ——			55		
グロバリアル社会公共空間における国家主権の変容と地球公共財.....	71	横	17	論	説
地球規模の問題群と国家中心的ガバナンス.....	72	横	1	論	説
——現状維持志向地球公共統治と地球公共財——			44		

地球規模の問題群の解決と脱国家中心のガバナンス……………	73	横	1	説
——地球公共財と現状変革志向ガバナンス——		横	1	説
地球公共財としてのグローバル平和……………	74	横	1	説
——グローバル紛争構造と世界軍事秩序の変革——		横	1	説
世界政治の弁証法……………	75	横	1	説
——現状維持志向勢力と現状変革志向勢力のダイナミクス——(1)		横	1	説
世界政治の弁証法……………	76	横	1	説
——現状維持志向勢力と現状変革志向勢力のダイナミクス——(2)		横	1	説
世界政治の現状維持志向知識体系と現状変革志向知識体系の弁証法……………	77	横	1	説
国家中心的国際政治と脱国家中心的世界政治のダイナミクス……………	79	横	1	説
——コミュニティリズム志向政治勢力とコスモポリタリズム志向政治勢力——		横	1	説
グローバルゼーションと「東アジア共同体」構想の理論的・実証的考察……………	81	横	27	説
——「東アジア共同体」構想と日中関係——(共…劉小林)		横	27	説
地球公共財の構築と日中関係……………	84	横	1	説
——地球公共悪変革のための日中関係の模索——(共…劉小林)		横	1	説
		横	63	説
増 島 建				
フランスの対アフリカ政策の新展開……………	43	301		説
——冷戦後世界への適応——		355		説
冷戦後の開発協力政策……………	47	261		説
——対外援助の今後に関する一考察——		277		説

Europe, America and Developing Countries: The Transformation of the O.F.E.C. to the O.E.C.D. (1959-1961)	49			
OECD (経済協力開発機構) と民主化	52			
—— 冷戦後世界への国際組織への対応 ——				
				横 73 101
				79 103
				論 論
				説 説

松嶋 由紀子

扶養の理論 (一) —— 社会保障法序説	1			
老令福祉年金における夫婦受給制限は、憲法二四条一項に違反するか	1	166	75	論 論
The Development of Japanese Family Law	21	37	54	判 例 研 究
—— A Personal Appraisal of Japanese Family Law ——				説 説
U.K. Divorce Law Reform	29	33	74	論 説
—— Grounds for Divorce ——				
イギリス家族法原理——離婚法の部 (I)	31	185	234	翻 訳
Stephen McCreney, Bristol 大学教授				
イギリス家族法原理——離婚法の部 (II)	32	75	108	翻 訳
Stephen McCreney, Bristol 大学教授				
変貌する社会に於ける親子法の展開 (I)	33	149	180	論 説
—— 国際家族法学会第7回世界会議に世界の動きを探る ——				
イギリス家族法原理——離婚法の部 (III)	35	111	141	翻 訳
Stephen McCreney, Bristol 大学教授				
英国の離婚	37	119	140	翻 訳
—— 法の展開とその社会的背景 ——				

Children's Rights in Japan	38				
——Controversial Issues with regard to the UN Convention on the Rights of Child				81	論
Child Abuse in Japan	45	横	1	115	論
——The Current Situation and Proposed Legal Changes		横	1	40	論
National Policy for Families and the Elderly	47				論
——Evolving from Family Care to Public Support					説
松田 幹夫					
ドミニオン中立権論・序説	1			56	論
——ブリテイッシュ・コモンウェルスの機能的変化を探る手がかりとして——				74	説
植民地の中立権からみたブリテイッシュ帝国	2			57	論
ドミニオンの中立権からみたブリテイッシュ・コモンウェルス	3			15	論
自動的交戦原則の検討	4			59	論
イギリス王冠の性質	5			49	論
J.E.S. Fawcett, The British Commonwealth in International Law, 1963	7			91	書
E.Pilschke (ed.), System of Integrating the International Community, Princeton, D. Van Nostrand Company, Inc., 1964, ix + 198pp.	9			83	書
国家性からみたドミニオンの中立権	10			61	論
ドミニオン使節権の展開	18			161	論
P.K.O.に対するカナダの貢献	22			77	論
Japan and the United Nations Forces	31			169	研究ノ
				183	ト

アイルランドのP KO参加………	41	89		論	説
イギリス領事関係法の展開………	43		79	論	説
P KOに対するアイルランドの貢献………	50		106	論	説
アイルランドのコモンウェルス脱退………	56		28	論	説
——リーディング・ケースを中心に——					
国家免除における政治的区分の問題………	57		35	論	説
——リーディング・ケースを中心に——					
国家免除における国家関係機関の問題………	59		38	論	説
——リーディング・ケースを中心に——					
国家免除における放棄の問題………	60		25	論	説
——イギリスの場合——					
外交免除における放棄の問題………	65		32	論	説
——リーディング・ケースを中心に——					
領事免除における放棄の問題………	69		28	論	説
——リーディング・ケースを中心に——					
P KOにおけるアイルランド国防軍………	75		26	論	説
Genot Bleher, <i>International Law in Practice: An Irish Perspective</i> ………	76		105	書	評
コモンウェルス事務局の成立………	77		27	論	説
国際連合憲章第二章の注解………	79		45	論	説
国際連合憲章第三章の注解………	80		13	論	説
国際連合憲章第一六章の注解………	81		36	論	説
自国民不引渡し原則についての疑問………	89		24	論	説
——リーディング・ケースを中心に——					

政治犯罪人不引渡し原則の問題性……………	90	1	23	論	説
——リーディング・ケースを中心に——					
アイルランドの憲法体制における国際法……………	94	1	23	論	説
——リーディング・ケースを中心に——					
イングランド法への国際慣習法の編入および変型……………	96	1	20	論	説
ドイツの裁判権免除……………	99	1	23	論	説
——関連する国内判決——					
松本 一郎					
改正刑法草案における公務員機密漏示罪について……………	5	73	87	論	説
ミシガン州の刑事司法について……………	11	115	144	研究ノ	ト
航空事故調査と刑事手続……………	20	29	76	論	説
二・二六事件北・西田裁判記録(一)……………	38	1	59	研究ノ	ト
二・二六事件北・西田裁判記録(二)……………	39	1	80	研究ノ	ト
二・二六事件北・西田裁判記録(三)……………	40	313	398	研究ノ	ト
二・二六事件北・西田裁判記録(四・完)……………	41	447	531	研究ノ	ト
二・二六事件北・西田裁判研究……………	42	67	184	論	説
二・二六事件湯河原班裁判研究……………	43	31	77	論	説
二・二六事件行動隊裁判研究(一)……………	45	1	91	論	説
二・二六事件行動隊裁判研究(二)……………	47	1	79	論	説

水本 浩

民法学の転回と新展開(1)……………	40	173	論
——大正一〇年～昭和二〇年の民法学史——		232	説
民法学の転回と新展開(2)……………	41	423	論
——大正一〇年～昭和二〇年の民法学史——			説
民法学の転回と新展開(3)〔元〕……………	42	313	論
——大正一〇年～昭和二〇年の民法学史——		360	説

宮里 政玄

米国の対外政策決定における議会の役割(1)……………	41	53	論
米国の対外政策における議会の役割(2)〔完〕……………	43	1	論
		29	説

森 勇

西ドイツにおける仮執行制度……………	25	73	研究ノート
——一九七七年簡素化法の一断面——		88	
判決ならびに強制執行手続きにおける主権免除 (ワルサー J・ハーブシャイド チューリッヒ大学教授、森勇訳)……………	30	135	翻
		155	訳

国際的応訴管轄をめぐる諸問題	43			
——直接管轄と間接管轄の非対称?——					
国際的応訴管轄をめぐる諸問題 (二)	44			
——直接管轄と間接管轄の非対称?——					
ドイツ倒産法判例紹介 (二)	49			
〔私訳〕ドイツ「連邦弁護士法」(一)	52	横 1	291	判例研究
——ドイツ弁護士制度関連規定邦訳 (1)——				42	325
〔私訳〕ドイツ「連邦弁護士法」(二)	53	横 1	37	資
——ドイツ弁護士制度関連規定邦訳 (1-2)——					
〔私訳〕ドイツ「連邦弁護士法」(三)	54	横 1	27	資
——ドイツ弁護士制度関連規定邦訳 (1-3)——					
倒産手続における共同損害の清算 (翻訳) (ラインハート・ボーク著、森勇監・小田司訳)	58	横 71	94	資
新倒産法のめざすところ (翻訳) (マンフレッド・ファルツ著、森勇訳)	59	横 1	32	資
新倒産法の一般手続き諸原則 (翻訳) (ハンス・プリユッティング著、森勇訳)	60	横 31	70	資
激動期にある司法システム (ベーター・ギレス著、森勇/金井幸子訳)	61	横 277	301	資
新倒産法に基づく変更解約告知および終了解約告知 (1)	63	横 167	208	資
(フランチ・ヨーゼフ・デュベル著、森勇・金井幸子 (共訳))					
新倒産法に基づく変更解約告知および終了解約告知 (2完)	64	横 265	316	資
(フランチ・ヨーゼフ・デュベル著、森勇・金井幸子 (共訳))					

森山 茂徳

戦後日韓関係形成の一側面…………… 41
 ——日韓会談における韓国交渉態度——
 日清戦争時の日本軍部の対韓政策…………… 43

安 章 浩

ブレアリズムとイギリス国家改革…………… 62
 ——ブレア首相の統治スタイルと政治課題——
 横 57
 説 83

山内 敏弘

K. F. Bertram, Widerstand und Revolution:
 Ein Beitrag zur Unterscheidung der Tatbestände und ihrer Rechtsfolgen, 1964 …… 1
 自衛隊法五九条一項違反の罪の成立を認めた事例…………… 4
 自衛隊裁判と軍事機密(一)…………… 7
 ——小西反軍裁判第1審判決に関連して——
 高校「現代社会」における教科書検定の実態…………… 17
 西ドイツの軍隊と兵士の人権…………… 18
 判 145
 例 127
 研 165
 究 ノー
 ト 89
 資 103
 料 222
 説 195
 論 222

核軍拡とボン基本法(一)……………	22								
——西ドイツにおけるパーシングII等の配備に関連して——									
西ドイツ基本法における憲法的規制の対象としての平和 (ゲッツ・フランク、ハノーバー大学教授、山内敏弘訳)……………	30	113	113	113	113	113	113	113	111
天皇の代替わりと日本国憲法の立場……………	31	33	33	33	33	33	33	33	153
湾岸戦争と政府の「貢献」策……………	33	25	25	25	25	25	25	25	論
——批判的検討——		47	47	47	47	47	47	47	論
CONSTITUTION AND REQUIREMENTS OF DEMOCRACY……………	34	33	33	33	33	33	33	33	論
東日本大震災と生命権・生存権……………	88	1	1	1	1	1	1	1	論
憲法九条と集団的自衛権……………	91	1	1	1	1	1	1	1	論
特定秘密保護法の批判的検討……………	93	43	43	43	43	43	43	43	論
山 口 晃									
政治思想のソロー……………	77	285	285	285	285	285	285	285	論
——『コンコード川とメリマック川の一週間』における建国と時間をめぐって——		311	311	311	311	311	311	311	論
山 田 恒 久									
国際裁判管轄の合意……………	48	113	113	113	113	113	113	113	論
外国人の当事者能力……………	49	45	45	45	45	45	45	45	論
		72	72	72	72	72	72	72	論
		133	133	133	133	133	133	133	論
		説	説	説	説	説	説	説	説

離婚の国際裁判管轄……………	45	論	説
離婚の国際裁判管轄に関する一考察(上)……………	45	資	料
離婚の国際裁判管轄に関する一考察(下)……………	64	資	料
国際訴訟競合規制の可否に関する一考察……………	66	論	説
インターネット上の契約及び不法行為の国際裁判管轄に関する我が国の学説の展開……………	69	研究ノ	ト
横山 潤	77		
地域的に条件づけられた外国実質法規の適用……………	77	論	説
THE ROLE OF PUBLIC LAW IN JAPANESE PRIVATE INTERNATIONAL LAW ……	88	論	説
横山 実	88		
わが国における脱刑事司法過程……………	91	研究ノ	ト
吉田 常次郎	129		
横領罪の客体……………	133	論	説
有価証券と印章偽造罪……………	133	論	説
騒擾罪……………	138	論	説
	138	論	説
	17	論	説
	18	論	説
	27	論	説
	27	論	説
	55	論	説
	71	論	説
	89	論	説
	111	論	説
	157	論	説
	317	論	説
	346	論	説

劉 尚 炫

現代韓国法制度の概観……………23
 ——憲法構造を中心にして——
 横 49
 説 59

劉 小 林

Shall We Meet Each Other Here? ……………71
 ——Prospect for a Mutual Understanding on Human Rights between the West and Chinese
 横 69
 説 85
 グローバリゼーションと「東アジア共同体」構想の理論的・実証的考察……………81
 ——「東アジア共同体」構想と日中関係——（共：星野昭吉）
 横 27
 説 65
 地球公財の構築と日中関係……………84
 ——地球公財悪変革のための日中関係の模索——（共：星野昭吉）
 横 1
 説 63

若尾 岳志

チエコ共和国新刑法典（資料・試訳）……………83
 ——犯罪論（§1―35）及び生命・健康に対する罪（§140―167）——
 横 129
 説 168
 資 料

綿貫 芳源

S. Ericman, LL.M. (ed.), <i>European Environmental Law, Legal and Economic Appraisal, 1977</i> …	13								
民事上の紛争に対する行政委員会の裁定の法理的性質……………	18	85	75						
宮崎良夫著「行政訴訟の法理論」……………	21	133	85						
Some recent trends of the Public Injury or Environmental Law in Japan ……	22	145	140						
我が国における法律案作成における政治的決定……………	27	60	60						
日本の法及び行政に及ぼした外国法の影響……………	32	155	161						
陪審制度再導入の検討(上)……………	40	233	291						
陪審制度再導入の検討(下・完)……………	41	305	369						
ワルサー J・ハープシャイド									
判決ならびに強制執行手続きにおける主権免除 (ワルサー J・ハープシャイド チューリッヒ大学教授、森勇訳)……………	30	135	155						
		翻	訳						
		論	説						
		報	告						
		書	評						
		論	書						
		書	評						